

## 第2節 哺乳類・鳥類

### I 大型哺乳類

#### 1. 丹沢山地における大型哺乳類の分布

永田幸志<sup>1)</sup>・羽澄俊裕<sup>2)</sup>・小林俊元<sup>1)</sup>

#### Distribution of Larger Mammals in the Tanzawa Mountains

Koji Nagata, Toshihiro Hazumi & Toshiyuki Kobayashi

#### 要約

丹沢山地におけるツキノワグマ、ニホンカモシカ、ニホンジカ、イノシシの分布概況を知るため、目撃情報の収集による分布調査を行った。調査は、大型哺乳類の目撃情報を得やすい関係機関等に情報提供を依頼すると共に、神奈川県自然環境保全センターのホームページ上にも掲示し、広く情報収集して行った。調査結果から、ツキノワグマ、ニホンカモシカ、ニホンジカ、イノシシは丹沢全域に分布していることが明らかとなり、イノシシは丹沢山地以外の目撃情報も多く得られ、ニホンジカについても丹沢山地以外での目撃情報が得られた。ツキノワグマは極端に目撃情報が少なく、生息数が少ないことを反映していると考えられた。

#### (1) はじめに

神奈川県における大型哺乳類の分布状況は、環境省(庁)が全国の都道府県を対象にして行った自然環境保全基礎調査や神奈川県(1992)により行われているが、丹沢山地の分布については、ニホンジカ *Cervus nippon* については古林ら(1997)により、ニホンカモシカ *Capricornis crisopus* については山口ら(1999)により報告されている。大型哺乳類の生息状況を把握する上で、分布は最も基礎的な情報であることから、今回、丹沢山地におけるツキノワグマ *Ursus thibetanus*、ニホンカモシカ、ニホンジカ、イノシシ *Sus sucrofa* の分布概況を明らかにすることとした。

なお、この調査は神奈川県の各地区農政事務所や行政センター(県政総合センター)、東京神奈川県森林管理署、ビジターセンター等の関係機関および、神奈川県自然公園指導員の方々、(社)神奈川県猟友会の方々他、一般の方からの情報提供により行われたものである。情報提供をしていただいた方に対してここに記し、感謝の意を表す。

#### (2) 調査方法

##### A. 目撃情報の収集

丹沢山地が所轄管内に含まれる神奈川県の各地区農政事務所や行政センター等の大型哺乳類の目撃情報を得やすい関係機関、団体、神奈川県自然公園指導員、(社)神奈川県猟友会会員等にツキノワグマ、カモシカ、イノシシの目撃情報の提供を依頼するとともに、自然環境保全センターのホームページ上でも目撃情報の提供依頼を掲示し、広く目撃情報の収集を行った。収集した情報は、日時、場所、頭数、目撃時の状況であり、種の明確なものについてのみ集計した。なお、調査実施前に自然環境保全センターで記録されていた目撃情報についても平成15年4月以降のものについて集計を行った。

また、毎年度猟期終了後に返納される狩猟者登録証には、猟期中に狩猟者が目撃したツキノワグマ、ニホンカモ

シカ、ニホンイノシシの記録が記載されているため、そのデータも集計した。

ニホンジカについては、ニホンジカ保護管理事業の一環として、自然環境保全センターにより同様の方法で目撃情報が収集されているため、そのデータを用いて集計を行った。

##### B. 集計

Aで得られた情報を、環境庁作成の3次メッシュ単位(約1km四方)で集計した。狩猟者登録証に記載された目撃情報は、鳥獣保護区等位置図に示されたメッシュ(2次メッシュを4分割したもので約5km四方)で記載されているため、メッシュの中央部を目撃位置として3次メッシュ単位で集計した。ただし、中央部が市街地や鳥獣保護区等、狩猟のできない場所である場合は、適宜位置を補正した。

#### (3) 調査結果および考察

平成15年4月から平成18年3月までに得られた目撃情報は、ツキノワグマ72件、カモシカ283件、イノシシ344件であった。ニホンジカの目撃情報は平成13年1月から平成18年3月までに1830件であった。それぞれ目撃情報の得られた3次メッシュを図1に示した。

今回の調査は任意の目撃情報収集によるものであるため、分布の概況を把握することしかできないが、調査結果から、いずれの種も丹沢全域に分布していることがわかり、イノシシについては、丹沢山地以外の地域からの目撃情報も多く得られ、ニホンジカについても、丹沢山地以外での目撃情報が得られた。また、ニホンカモシカとツキノワグマについては目撃情報が少なく、ツキノワグマについては特に目撃情報が少ないため、生息数が少ないこと(羽澄ほか、1997)を反映していると考えられた。

#### 文献

神奈川県, 1992. かながわの鳥と獣. 88pp.  
古林賢恒・山根正伸・羽山伸一・羽太博樹・岩岡理樹・白石利郎・皆川康夫・佐々木美弥子・永田幸志・三谷奈保・ヤコブ・ボルコフスキー・牧野佐絵子・藤上史子・牛沢理, 1997. ニホンジカの生態と保全生物学的研究. 神奈川県公園協会・丹沢大山自然環境

1) 神奈川県自然環境保全センター 2) (株)野生動物保護管理事務所

総合調査団企画委員会編, 丹沢大山自然環境総合調査報告書, pp.319-429. 神奈川県環境部, 横浜.  
羽澄俊裕・小山克己・長縄今日子・釣賀一三, 1997. ツキノワグマ. 神奈川県公園協会・丹沢大山自然環

境総合調査団企画委員会編, 丹沢大山自然環境総合調査報告書, pp.453-569. 神奈川県環境部, 横浜.  
山口喜盛・中村道也・渡邊憲子, 1998. 丹沢山地におけるニホンカモシカの生息状況. *BINOS*, (5): 23-30.



図1. ニホンカモシカ・ツキノワグマの目撃地点

- : 目撃 (明確な痕跡含む) 情報の得られた地点を含む3次メッシュ (約1 km 四方).
- : 狩猟者登録証に捕獲, 目撃の記録された鳥獣保護区等位置図メッシュ (約5 km 四方) の中央の3次メッシュ (3次メッシュが可猟域外や市街地の場合は山側の可猟域へ表示位置を修正).



図2. イノシシ・ニホンジカの目撃地点

- : 目撃 (明確な痕跡含む) 情報の得られた地点を含む3次メッシュ (約1 km 四方).
- : 狩猟者登録証に捕獲, 目撃の記録された鳥獣保護区等位置図メッシュ (約5 km 四方) の中央の3次メッシュ (3次メッシュが可猟域外や市街地の場合は山側の可猟域へ表示位置を修正).
- ※ ニホンジカについては, 自然環境保全センターの目撃情報データを使用して作成した.